

婦人科細胞診における黄色粘液細胞は子宮頸部胃型粘液性癌の早期認識 に有用かに関する研究

1. 研究の対象

2015 年 1 月～2026 年 12 月に当院で子宮頸部または子宮体部の病理学的検査（組織診または細胞診）を受け、子宮頸部胃型粘液性癌と診断された方。または子宮頸部胃型病変が疑われ経過観察されている方。

2. 研究の概要

研究期間: 総長の研究実施許可日～2028 年 12 月 31 日

研究目的:、細胞診に出現する黄色粘液細胞が子宮頸部胃型粘液性癌の予測因子となるかについて調査します。MRI や腫瘍マーカー等、他の検査結果と比較します。

研究方法: 子宮頸部胃型粘液性癌の診断に至るまでの過程を後ろ向きに調査し、細胞診の有用性を評価します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 診療録、組織診・細胞診結果、HPV 検査結果、血液検査結果、画像検査結果 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター 病理・細胞診断科 長田盛典

住所: 〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話: 06-6945-1181

研究責任者: 大阪国際がんセンター 病理・細胞診断科特別研究員 龍あゆみ

-----以上